

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新	階数	地上4F
建設地	大阪府守口市橋波東一町	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年6月12日
敷地面積	1,795 m ²	作成者	長谷秀人
建築面積	799 m ²	確認日	2019年6月14日
延床面積	2,608 m ²	確認者	上羽一輝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ピロティ空間やオープンスペース等、優れた歩行者空間を持ち、かつ植栽の活用により、周辺環境や街並みを調和を図る計画としている。 ・高断熱の建築計画、高効率な空調機器や照明設備を選定している。 ・将来対応可能なフレキシビリティの高い建築・設備計画としている。		その他 ・特になし
Q1 室内環境 ・吸音性の高い、天井、床材を採用している。 ・内部仕上げには、全面的にF☆☆☆☆のものを採用している。 ・断熱性の高い外壁、ガラスは複層とし、日射による空	Q2 サービス性能 ・天井高さや、一人当たりの執務スペースはゆとりのある空間を確保している。 ・維持メンテナンスが容易なものを採用している。 ・事務室はOAフロアの採用により、将来の更新にも配慮	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽を多く取り入れ、周辺建物と調和の取れたデザインとしている。 ・ピロティ空間やオープンスペースを連続させることで、周囲を調和の取れた外部景観を形成している。
LR1 エネルギー ・消費電力の少ないLED照明の採用をしている。	LR2 資源・マテリアル ・再利用が可能な資材の使用、またはリサイクル品を使用している。	LR3 敷地外環境 ・車両動線を明確化している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0048

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新築工事(西棟)						
		建設地	大阪府守口市橋波東之町						
		用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+			
①	CO2削減					3			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					3			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.8	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.8	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									